



## 事例 2

# 生活習慣の維持のための段差解消

### 本人家族の希望・要望

(日常生活における不便・不自由な点)

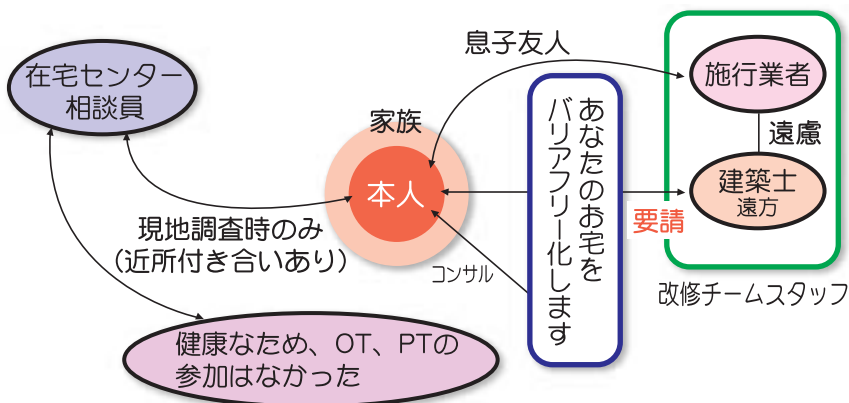
1. 家の中の移動で支障がないように室内間の段差解消をする。
2. 浴室を広く暖かいユニットバスに改修。
3. トイレは下水道工事施工も合わせ洋式化とし、立ち上がり等に役立つ手すり取り付け。
4. 本人の趣味というか、生き甲斐が凝縮しているキッチンを明るく暖かく。



### これまでの流れ

- 介護等の支援はこれまではない。
- 昭和52年に新築後、子供の成長に伴い部分的な改修と増築を繰り返してきたが、床の段差に関してはいっさい手がけてこなかった。本人の寝室からはローカブたいにフラットにはなっているが、ローカからリビング、キッチン、トイレ、浴室に移動の場合は敷居の段差がある。当時のままの構造なので、サッシもシングル、断熱材が入っていても性能的には役割を果たしていない。
- 温度差による血圧の病状の悪化を引き起こさないために、室内の温度環境についても今後気をつけていく必要が大いにある。

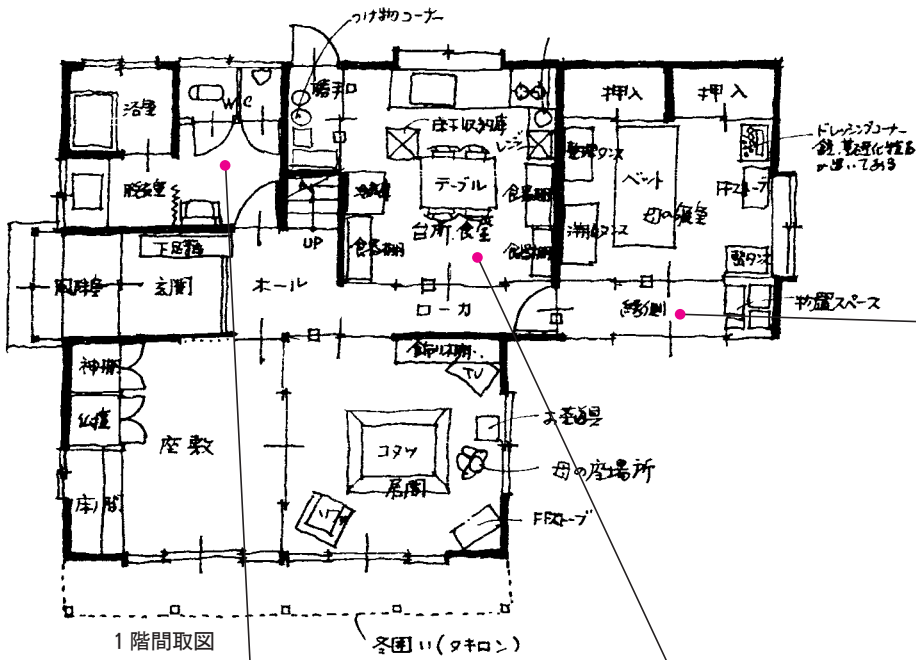
### 住宅改修チーム



家族をまじえて  
改修チームスタッフ打合せ

性別/年齢	女性 83歳	自立の状況 (共通の項目)	●寝返り・起き上がり ・自立
世帯構成	本人、息子夫婦、孫の4人家族		●衣服の着脱 ・自立
主介護者	なし		●洗面・歯磨き ・自立
住 宅	木造2階建		●トイレ ・自立
病 名	なし		●入浴 ・自立
障害の程度	なし		●歩行 ・自立
病 歴	・肝臓病、貧血		●移動 屋内 ・自立
介 護 度	・対象外		屋外 ・自立
身体及び介護の状況	・日常生活動作は殆どが自立。介護の必要はなし。 ・屋内での歩行はしっかりしているが玄関等の段差の大きいところはつかまる物が必要。 ・2週間に1回通院。薬をもらうことと、注射。通院にはバスで行く。		●移乗 ・自立
		●調理・食事 ・自立	
		●家事 ・自立	

## 現地調査



改修スタッフチーム  
現地調査



改修チームスタッフ  
現地調査



改修スタッフチーム  
現地調査

### 既存家屋の概要

建築年	昭和52年
階・建	木造2階建
工事範囲面積	浴室・洗面・脱衣室・WC・台所 47.4㎡
所有形態	自己所有

## 住宅改修支援の流れ（スケジュール）

年月日	本人・家族の状況		住宅改修チームの支援内容と動き		
	状況	内容・要望	住宅改修支援チームの動き		内容
平成11年 12月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本人はいたって健康。年齢のわりには家庭内での仕事の量は多く一家の柱的存在。</li> <li>○現在は杖なしでも普通に歩くことは出来るし、外出も問題ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○83歳の本人がこれからも自宅で生き生きと暮らしたければ、どのような改修工事を考えたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前現地訪問調査</li> <li>○介護保険とは程遠い。元気な高齢者の代表のような女性。</li> <li>○改修スタッフの施工業者は友人に依頼する予定で、建築士は派遣する。（本人の状況からPT,OTの派遣は見送り、在宅介護支援センター職員に協力を要請）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政（県）</li> <li>行政（町）</li> <li>施工業者</li> <li>コンサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体、ADL,介護状況等確認</li> <li>・本人・家族の要望確認</li> <li>・住宅、移動状況の確認</li> </ul>
平成12年 1月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2週間に1回の通院で薬を投与される。貧血気味ではある。</li> <li>○息子夫婦、孫共仕事に出かけた後は、日中1人きりである。</li> <li>○友達も多いし、何より料理を作ること（一日3食の食事の支度や、漬け物、果実酒等）が生きがいの人なので、退屈はしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○洗面、脱衣室にあるボイラーの位置についての検討。（衣服の着脱時に支障がある）洗面器、洗濯機の配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改修チーム現地訪問調査</li> <li>○改修チーム初顔合わせ。建築士は若干遠方の方だが、出身が近隣の人なので、地域的な認識は豊富。</li> <li>○利用できる予算は限られており要望の事項について概算見積を作成して、優先順位を決定したうえで本工事の見積をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在介センター</li> <li>施工業者</li> <li>建築士</li> <li>コンサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修プランの打ち合わせ。</li> <li>・身体状況を確認したうえで計画中のプランを元に、使いやすい位置やスペースを考えながら話し合う。</li> <li>・介護予防的なアドバイスを。</li> <li>・今後の進め方。</li> <li>・介護保険におけるサービス利用との連携について。</li> </ul>
20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○改修プランについて、何度か施工業者と話してきた。</li> <li>○ユニットバスやキッチンセットについてのカタログを取り寄せてもらって、予算とも相談しながら検討中。</li> <li>○来週にはショールームを見学に行く予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな要望</li> <li>①居間の床をフローリング張り仕上、壁の貼り変え工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改修プラン検討会</li> <li>○改修プランについては、前回の話し合いで1月中にたたき台となるプランと概算、カタログ等を収集し改修スタッフの意見を取り入れて話し合いを進める予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの話し合いを元に改修プランについて検討。（図面なし）</li> <li>・建築士に対して遠方から来ていただくには面倒かけると遠慮から連絡していない。</li> <li>・改修プランと見積等が完成した時点で改修チームが集まり、確認するよう説明。図面は施工業者が作成。</li> </ul>
2月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○改修プランについて、何度か施工業者と話している。</li> <li>○採用する機器決定。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の話し合いの報告</li> <li>○現在は最終プランの作成中。3月14～15日頃に確認する予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修チームとしての関わり方について再度詳しく説明。</li> <li>・施工業者にとっては、今回のような一般的なバリアフリー改修は経験があるらしく、図面も作成できるのであえて迷惑をかけなくてもといった考えがある様子。</li> <li>・施工業者の一方的な進め方ではなく改修チームでの検討を大切にして、よりよいプランを作成するように。</li> </ul>
3月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最終プラン完成まで打ち合わせを行い、大雑把に金額を確認しながら、考えてきた。</li> <li>○本人がそんなにしなくてもまだ大丈夫と言っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最終プランについての感想</li> <li>①トイレ及び浴室を増築することにより、若干空間は広がる。</li> <li>②洗面所、脱衣室は機器があるため、衣服の着脱にゆとりが持てる工夫をする。</li> <li>③玄関から風除室の段差を解消する方法として、手すり取り付けとする。</li> <li>④台所、食堂は、北側に大きな窓を配する。また、階段下の勝手口は既存のまま漬物樽収納スペースとして残す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改修チーム最終案作成</li> <li>○最終プラン及び工事金額の説明と行程の打合せ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工業者</li> <li>コンサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終プラン決定まで、改修チームとしての話し合いや打ち合わせは行わず、施工業者1人で進めて来た。</li> <li>・下水道工事の組合分工事と個人負担分工事の範囲の決定。</li> <li>・工事期間中の水回りに関する仮設計画について。</li> <li>・工程打ち合わせ</li> </ul>
17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工事契約</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○工事請負契約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工業者</li> </ul>	
4月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○着工</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○改修プランの内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事写真</li> </ul>
12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本人が自分の部屋のカーテンの補修をしていた。（針の糸通しはとて早く上手）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仮設のトイレを本人の寝室の向側に縁側から利用できるように設置する。仮設でも段差や手すりの配慮して。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事進捗状況確認</li> <li>○改修工事範囲の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工業者</li> <li>コンサル</li> <li>在介センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手すりの位置及び高さに関しては本人に使ってもらったうえで決定すること。</li> <li>・在宅介護支援センタースタッフが見学に来た。</li> </ul>
13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○完成</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>施工業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成写真</li> </ul>
12月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○この日は本人が友達と温泉に出かけて、息子夫婦が立会い感想を聞かせてくれた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>完成確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政（県）</li> <li>コンサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成状況確認の上、本人及び家族の感想聞き取り</li> </ul>



改修プラン



トイレ  
床の段差解消と、水洗化したい



洗面所 トイレ  
入口部分

- ・ トイレの内法を広げるため、0.55㎡増築する
- ・ トイレを、腰掛け便器に変更し、手すり（木製36φ）を取付。



改修後 トイレ  
内部（水洗化）



改修後 浴室

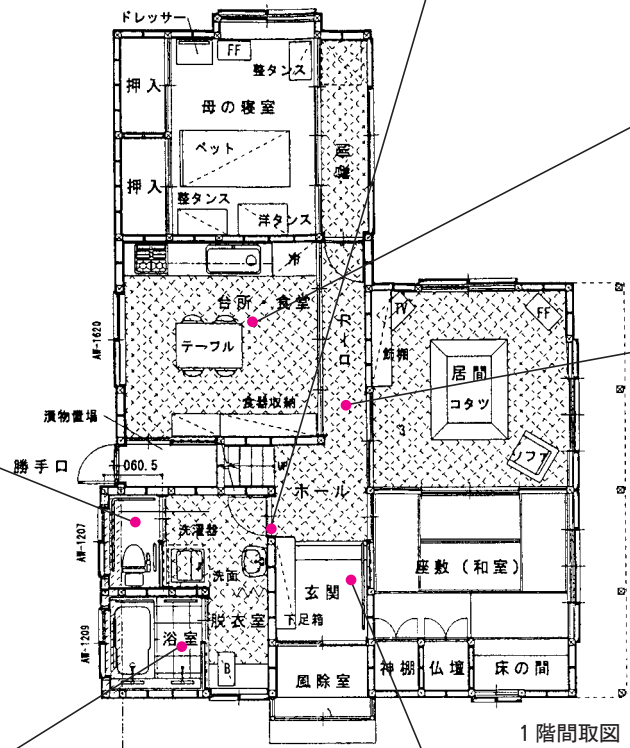
- ・ 浴室にシステムバス（1坪）バリアフリータイプを設置。システムバス（1坪）のため、0.55㎡増築する



改修前



ローカ～脱衣室  
床敷居撤去



玄関ホール  
踏み台及び手すり新設

- ・ 玄関に式台の設置。現状H×1/2（段差の解消）
- ・ 玄関に手すり（木製36φ）の設置。高さは、使用者に合わせる。



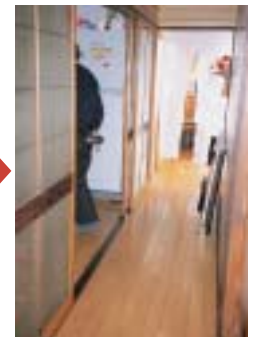
台所 キッチンセット  
台所は北向きでさむく暗い

- ・ 台所・食堂に、片引き戸を取付。
- ・ 台所・食堂に、流し台をシステムキッチン変更取付。
- ・ 台所・食堂の外部サッシを1620変更取付。



ローカ～台所  
間仕切敷居段差あり

- ・ 床フロア貼（ホール・ローカ・縁側・台所・食堂・居間・トイレ前室・脱衣室）（段差の解消）



ローカ～台所  
寝室縁側床材重ね貼り

改修案の整理（福祉用具含む）

区分	課題（ニーズ）	目標	改修等内容	改修効果	課題
洗面・脱衣室	・ 洋服の着脱のスペースが狭すぎる ・ 洗面台を使用するにもチェストがあり、ゆとりがない。	・ 暖かく広いスペースを確保したい。 ・ 洗面台で顔を洗うのにお尻がぶつからないスペースを確保したい。	・ 洗濯機の位置はトイレの脇のスペースに置く。 ・ チェストは移動。 ・ <u>ボイラー部分の床仕上げスペースを広げる。</u>	・ 洗濯機を移動しただけでスペースが広く感じられる。 ・ <u>ボイラー部分の床を広げたことでゆとりができた。</u>	・ 冬期間はヒーターを置き暖を取る工夫を。 ・ ボイラーの寿命も考慮し、脱衣室からの移設を考えておく。
トイレ	・ 膝の曲げ伸ばしがきついで、大便器のしゃがみ込みがきつい。	・ 立ち上がりが楽にしたい。 ・ 水洗化したい。（町の下水道工事も関係する）	・ <u>大小トイレスペースを一体化したうえ増築し、洋式便器に取り替え。</u> ・ 手すり取り付け。	・ <u>明るく広く使い易い。</u>	・ 今後不自由を感じた場合再度手すりの位置に関しては改修が必要になる場合あり。
浴室	・ 現状の浴室床の段差と浴槽の出入りが不便。寒い。	・ バリアフリー仕様のユニットバス化	・ 浴槽は和洋式浴槽タイプ ・ <u>立ち上がり、浴槽に入るときの手すり取り付け。</u>	・ <u>安心して入れること。</u> ・ 暖かくなった。	
廊下	・ ローカ床仕上げと敷居の段差がつまづきの原因になる。	・ 敷居の段差解消	・ <u>敷居の段差解消のため既存床板上に、厚さ15mm合板フローアを重ね張りとする。</u>	・ つま先が引っかかる心配が無く安心。	
台所・食堂	・ 日中でも日が入らないので暗く寒い。 ・ 料理を作ることが好きだが、長時間作業をしていると疲れる。	・ 明るく、暖房機を取り付けたい。 ・ イスに座って使用できるキッチンセットにしたい。	・ 北側ではあるが <u>テラスサッシ</u> を取り付け。 ・ 戸の開き勝手を逆勝手にする。 ・ キッチンセットを膝が入り込むタイプのものを採用。	・ <u>柔らかな光が入り、勝手口としての役割にも使える。</u> ・ とても機能的なので、台所作業が楽しい。	・ 台所～ローカ～居間を一体化して使用したいとの要望があったが、ローカ部分に間仕切りを取り付けるなど、工夫したい可能性はある。
玄関	・ ホールの上がり框段差が大きいため、靴を履くのに一度座って履かなければならない。	・ 靴を履き易くするために、手すりを取り付ける。	・ <u>手すりを取り付ける。</u> ・ <u>上がり框の段差の半分の式台を設置。</u>	・ 手すりにつかまって <u>立ったまま靴が履けるようになった。</u>	・ もっと安全に靴を履き、立ち上がりができる様、安定感のあるイスやベンチを設置することも考える。

住宅改修費	福祉用具導入
総工事費 4,354,899円	導入なし。
自己資金 3,354,899円	
公的資金 1,000,000円（事業協力金）	
介護保険 利用なし。	
その他	

## 本人・家族の感想

- 工事期間中は少し寒かった。
- 今回の事業に応募したのは町の下水道工事との接続工事のこともあり、トイレ全体の改修をしようと思っていたから。
- おばあさんは家の中では何も不自由なく過ごしていて、流しをととても気に入っているが、先日病院の帰り、バスから降りたとき転んだくらいで、大きな怪我もなくとっても元気です。
- これまで玄関で靴を履くのに床に座っていたのが、手すりがついたおかげで手すりにつかまって立ったまま靴が履けるようになった。(本人だけでなく、家族みんなが手すりを利用している。)
- 今後本人の状態を考えてベンチをつけられるよう工夫しようと思う。
- トイレはとっても良い。
- キッチンは明るくなった。
- 一番楽なことは段差がなくなったこと。
- 生活の中での大きな変化はない

### 本人の声

- 大好きな風呂で暖かくゆっくりできるようになったので、長風呂になった。
- 友達が遊びに来て「いいなあ」と言って行く。
- キッチンはこれまで立ったときつま先が当たるので、深く立つことができなかったが、イス対応のキッチンにしたらゆっくり立っても深く立てるので使いやすい。
- 在宅介護支援センターの人も見に来た。
- 大工さんが友人だったおかげで何でも話せてよかった。

## 家族へのアドバイス

- ・住宅改修においては大きな課題は残されていないが、当初話し合いで検討されていた部分で、台所～廊下～居間のつながりについて、一つのスペースとして使用できるようにするにはどうしたらいいのか？息子夫婦で話し合っているらしい。段差はなくなったものの、間仕切りを撤去するには金がかかりすぎるため、この後じっくり考えてみてもいいのではないか。
- ・今後身体状況のレベルダウンが見られることも予想されるため、介護保険について情報を得ておくこと。更には介護予防のため、できるだけこれまでどおりの生活をおくれるよう心がけて。

## 改修後のフォロー

- 現在はとても元気で介護とは程遠い状態ではあるが、何時、何処で、何があるかは分からない。施工者が息子さんと友人関係にあり、時折お宅を訪問している様子なので、今後ご本人の身体状況の変化が現れた場合も、今回のような進め方に医療、福祉関係者の意見も取り入れて、本人が使い易い工夫をしてもらえるよう、今から連携をもてるように働きかけてもらいたい。

## 改修チームからのコメント

### 施工業者から

こちらの息子さんとふるい友人関係にあり、昔からお母さんを見てきていたので、今回の要望も自分で何とかできると思って進めてしまった。建築士には遠くから何度も来ていただくのは申し訳ないと思い、自分でも図面を書くことができるので、連絡をしなかった。今回の事業の趣旨は聞いていたが、うまく進めることができず反省している。工事は、家族も気心が知れているので、進めやすかったし、細部にわたり話し合いができたので良かった。これからの工事に生かしたいと思う。

### 建築士から

最初の現地訪問調査の時の参加以後、施工者との連絡もうまくとれず、本当は最後までかかわりたかったが、できなかったことは残念であった。